

令和元年度
事業報告書

社会福祉法人 やながせ福祉会

短期入所生活介護

大津みやび野ホーム短期入所生活介護

令和元年度 事業目標

目 標	ケアの統一を図り、安心して生活が送れる環境を整える
理 由	<p>利用時の様子やケア変更時は申し送りを行ない情報共有に努めているが、不十分なこともあり職員によって支援方法やケアにおける認識の差も見られる。自宅での生活の延長として短期入所生活介護があることを再度認識し、職員の対応も一つの環境と捉え、利用者が安心、かつ居心地が良いと思えるような環境が必要と感じたため。</p>
具体的対応策	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送迎時やカンファレンス等を活用し、家族及び介護支援専門員との連携をより深め、短期入所生活介護計画書の充実を図ることで、より個別性の高いケアを図る。 2. 清掃の回数や実施時間を見直し、より清潔な空間での生活支援を図る。 3. 毎月実施している事業所会議にて利用者個々の現状やケアにおける問題点について情報共有を行い、ケアの統一を図る。 4. 職員との個別面談を実施し、支援方法、接遇面を中心に振り返り、職員個々のスキルアップを図る。 5. アンケートの実施を行い、満足度、提供しているサービスを客観的に評価し、見直しを図る。

令和元年度 事業報告

事業報告	<p>令和元年度に行った利用者並びに家族に行ったアンケートの集計結果（回収率 60%）に関して、満足度は5段階評価（5が最も良い）で4以上が95%、不明・わからないが5%となった。</p> <p>利用者のケアにおける情報を統一できるよう、毎月実施しているユニット会議で専用の確認シートを用いながら不明点や修正点を更新した。また、事業所内の会議や日々の申し送りを通じ、支援は行えているが、期間が空いての利用になる方の十分な連携が図れていなかったことが課題となり、より個別性の高いケアを図るための短期入所生活介護計画書の充実も不十分だった。</p> <p>職員も環境の一部と捉え、4ヶ月に1度職員面談を実施し、個別に接遇面や支援方法について話し合った。日々の業務の中でも職員間でコミュニケーションをとり、支援方法についても標準化を図れるように努めた。</p> <p>清掃の回数や実施時間を見直し、実施したことで、より清潔な空間での生活支援を図った。</p>
事業運営総括	<p>令和元年度の年間稼働率は 94.3%と平成 30 年度と比較すると 2.8%向上がみられた。</p> <p>継続的に利用されていた方も施設入居や入院でキャンセルとなることもあり、1人当たりの利用日数の低下がみられるも、利用実人数が増えたことで、稼働率は大幅に低下しなかった。</p> <p>引き続き利用者は環境が変わることに不安抱いている中、日々、過ごしていることを踏まえ、安心がかなうようアセスメントをもとに自宅に近い環境を整えるとともに家族から信頼が得られるよう支援体制を図る必要性があり、利用者のニーズを把握しながら各居宅介護支援事業所との連携をより密にとっていきたい。</p>

苦情対応

受付日	事故内容	解決方法
令和元年 8月21日	<p>「職員対応について」</p> <p>利用者の家族より8月5日に転倒し、顔を怪我したにも関わらず、見舞いに来ない。誠意を感じず、治療費を含め、慰謝料も要求するとの申し出がある。</p>	<p>①施設長と生活相談員が自宅を訪問し、対応の不備を陳謝する。</p> <p>②初回面接時の聞き取りや利用中の様子を確認し、センサーマットを活用していくことを説明する。</p> <p>③加入している傷害保険の手続きを行うことを説明すると理解が得られた。</p>

事故対応

発生日	事故内容	事故対策
令和元年 8月5日	<p>「転倒による裂傷」</p> <p>21時20分頃、居室前で転倒し、右目上部を裂傷する。翌日、病院を受診し、5針縫う。</p>	<p>①起居動作や歩行する時にはナースコールを利用するように説明する。</p> <p>②都度の下肢の状態に応じて、センサーマットを設置し、状態の把握に努める。</p>

要介護度の状況 《平均要介護度 介護 2.24》

令和2年3月31日 現在

	人数	割合
要支援1	0	0%
要支援2	0	0%
要介護1	13	38%
要介護2	8	24%
要介護3	7	21%
要介護4	4	12%
要介護5	2	6%
合計	34	100%

月間利用実績（人数）

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3
要支援2	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	0	0	6
要介護1	12	13	13	15	17	14	11	15	13	11	13	13	160
要介護2	8	9	8	11	5	4	5	7	9	6	7	8	87
要介護3	5	7	7	7	9	6	6	5	6	7	7	7	79
要介護4	6	8	7	6	8	9	11	9	9	7	5	4	89
要介護5	0	0	1	1	2	4	2	2	1	2	3	2	20
合計	31	38	37	41	43	38	36	39	38	34	35	34	444

月間利用実績（延べ人数）

《稼働率 94.3%》

令和元年度

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	0	0	0	2	2	0	0	3	0	0	0	0	7
要支援2	0	2	3	0	2	6	3	0	0	3	0	0	19
要介護1	78	76	70	96	98	66	71	89	84	72	74	90	964
要介護2	44	54	55	51	39	17	39	37	48	41	30	49	504
要介護3	51	59	74	56	66	58	56	54	69	92	73	71	779
要介護4	103	82	83	68	73	111	117	95	82	75	48	30	967
要介護5	0	0	16	23	13	29	14	10	11	12	41	42	211
合計	276	273	301	296	293	287	300	288	294	295	266	282	3,451

曜日別延べ利用実績

令和元年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計
人数	523	461	505	480	488	507	487	3,451
割合	15%	13%	15%	14%	14%	15%	14%	100%

1 週当り平均利用人員

令和元年度

	月	火	水	木	金	土	日	合計	1日平均
人数	9.86	8.69	9.71	9.23	9.38	9.75	9.36	65.98	9.43
割合	15%	13%	15%	14%	14%	15%	14%	100%	—

年齢別構成状況

令和2年3月31日 現在

	65歳以下	65歳以上 から 70歳未満	70歳以上 から 75歳未満	75歳以上 から 80歳未満	80歳以上 から 85歳未満	85歳以上 から 90歳未満	90歳以上	合計
男	0	1	1	1	1	1	6	11
女	0	0	0	0	5	8	10	23
全体	0	1	1	1	6	9	16	34

行事報告

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
4月	桜ドライブ外出	飾り作り	ラジオ体操 脳トレーニング
5月	つくしの会との交流 和太鼓交流会	散策	ラジオ体操 カルタゲーム
6月	姫路市児童合唱団との交流 三味線交流会 あじさいドライブ外出	おやつ作り	ラジオ体操 トランプゲーム
7月	ドライブ外出	七夕笹飾り	ラジオ体操 数字合わせゲーム
8月	夏祭り	盆踊り	ラジオ体操 ポーリングゲーム
9月	敬老会	ハロウィン飾り作り	ラジオ体操 脳トレ問題
10月	コスモスドライブ外出	おやつ作り	ラジオ体操 トランプゲーム
11月	紅葉ドライブ外出	クリスマス飾り作り	ラジオ体操 カラオケ
12月	クリスマス会	デイサービスとの交流会 餅花作り	ラジオ体操 ポーリングゲーム
1月	初詣	鍋メニュー	ラジオ体操 かるた
2月	節分豆まき	塗り絵	ラジオ体操 口腔体操
3月	ひなまつり会	おやつ作り 塗り絵	ラジオ体操 トランプゲーム

	行 事	趣味・生きがい活動	レクリエーション及び体操
定期的	料理教室	塗り絵 計算問題	リハビリ体操 カラオケ